

帯広市広報マスコットキャラクター

しろかんぱ の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。

この度帯広南町保育園に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。

※砂場用のテーブル&イスセット（2セット）

丸いテーブルとイスのセットです。テーブルの天板は「ハルニレ」の木、脚の部分は「カラマツ」の木でできています。イスの座面は「イタヤカエデ」の木、土台は「カラマツ」の木でできています。テーブルの高さが少し違うので、小さいお子さんも大きいお子さんも利用できるようになっています。

※ベンチ（3個）

上記のテーブルとも組み合わせられる小さなベンチです。逆さにして、物を入れて遊ぶことができる造りになっています。座面は「ハルニレ」の木、土台の部分は「イタヤカエデ」の木でできています。

※丸太ステップ（1台）

丸太でできた階段状の遊具です。手すりがあるので、小さいお子さんも安全に利用できます。「カラマツ」の木でできています。



屋外で使用するため、表面を保護するために顔料入りの塗装をしていますが、木目が見えるようにし、木の風合いを感じられるようになっています。

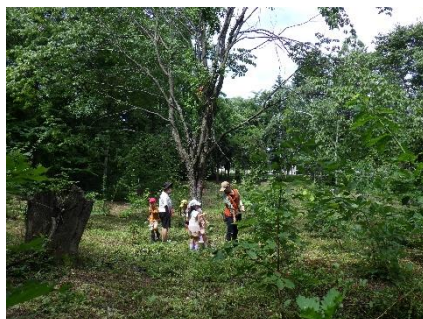
地域の木材を使って、市内の職人さんが作ってくれたよ！



ブルーとピンクが
アクセントカラー！

7月31日に年長児に参加してもらい贈呈式と木育活動を行いました。

新しい木製品に触れてもらった後、木育マイスター※³の方々と一緒に帯広農業高校の「里山模範林」にお邪魔し、グループごとに「大きな葉っぱ」、「ぎざぎざの葉っぱ」、「穴あきの葉っぱ」などを探しながら自由に散策を楽しみました。最後には見つけた葉っぱを見せ合って盛り上がりました。



※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。

※² 木製品は順次市内の他の保育園等にも設置を進めていきます。

※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。



帯広市広報マスコットキャラクター

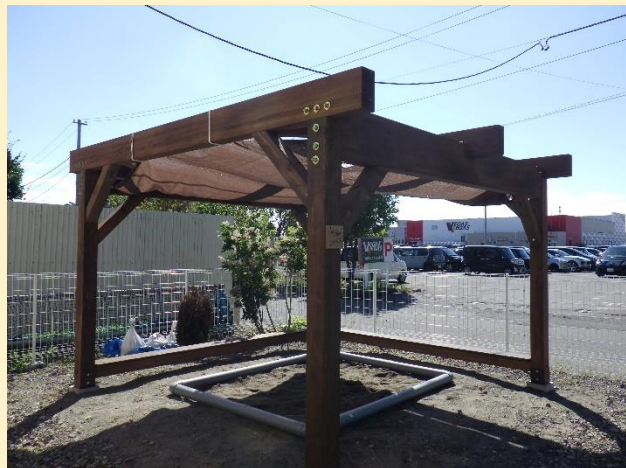
しろかんぱ の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度ひなたぼっこ保育園に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。

本砂場用の日よけ棚（ベンチ付き）



砂場に合わせて棚を設置しました。2面にベンチがついているので、座ったり、物を置いたりすることができます。十勝でもよく見られる「カラマツ」の木でできています。



◀秋のカラマツ林



▲葉のかたち



設置工事の様子

表面を保護するために顔料入りの塗装を施していますが、木目も見えるようにし、木の風合いを感じられるようになっています。

地域の木材を使って、市内の職人さんが作ってくれたよ！



使用した樹種などを紹介するプレートがついています

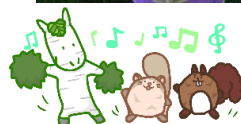
9月3日に2歳児に参加してもらい贈呈式と木育活動を行いました。
新しい木製品に触れてもらった後、木育マイスター※³の方と一緒に大心公園にお散歩に行きました。
公園への道中も、みんなは気になる草花やクモの巣があると足を止め、観察したり触ってみたいしていました。公園ではさまざまな形の葉っぱや木の実を集めて、のびのびと楽しみました。



※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。

※² 木製品は順次市内の他の保育園等にも設置を進めていきます。

※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。



帯広市広報マスコットキャラクター

しろかんば の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親んでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度藤花保育園に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。



♣小屋

園庭にあった木製の小屋が古くなってしまったとのことで、新しいものを設置しました。テーブル、ベンチ、カウンターがあり、中の空間が少し広くなったので、おままごとやお店屋さんごっこなどがさらに楽しくなりそうです。
この小屋は「カラマツ」の木でできています。

♣テーブル&イスセット

丸いテーブルとイスのセットです。テーブルの天板とイスの座面は「ハルニレ」の木、それ以外の部分は「カラマツ」の木でできています。

♣砂場用のイス

上記のイスと同じ形ですが少し低めに製作したものです。こちらも同様に「ハルニレ」と「カラマツ」の木でできています。イスの土台は丸太を切ったものなので、小ぶりですが重量感があります。



ハルニレ



カラマツ

<葉のかたち>



地域の木材を使って、市内の職人さんが作ってくれたよ！



10月21日に年長児に参加してもらい贈呈式と木育活動を行いました。

新しい木製品に触れてもらった後、木育マイスター※³の方々と一緒に近くの緑地に行き、秋の自然の中で気になったものを集める「宝物さがし」を楽しみました。いろいろな形の葉や木の実などの「宝物」が、どっさり集まりました。



※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。

※² 木製品は順次市内の他の保育園等にも設置を進めていきます。

※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。



帯広市広報マスコットキャラクター

しらかんば の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度つばさ保育所に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。



①



②

◀シンクの蓋を
すると、平らな作業
台に！



②

◆①キッチン

コンロ、作業スペース、シンクを備えた本格的キッチンです。背板はウダイカンバ、作業台はセンノキでできていて、その他にもオニグルミやハルニシ、ヤチダモなどが使われています。

◆②冷蔵庫（大小1台ずつ）

天板はクリ、中の棚はセンノキです。扉も大部分がセンノキですが、一部にミズナラを使うことで表情に変化が出ています。卵用の収納もついていますよ。

◆③ベンチ&ベッド（3つ）

2人で座れるベンチです。逆さにとすると人形のベッドや小物置きにも使えます。座面はウダイカンバ、側板はイタヤカエデでできています。

◆④丸座卓

みんなで囲める座卓です。天板はホオノキ、脚はオニグルミでできています。

◆⑤本棚

絵本がたくさん入る本棚です。背板はウダイカンバ、側板はセンノキ、幕板と棚の仕切りはハルニシでできています。



③

お人形のベッド
に早変わり！



④



◀それぞれに
使った木の名
前が刻印され
ているよ



⑤

全て北海道の木を使っ
て、市内の職人さんが
作ってくれたよ！



11月7日に年中児と年長児に参加してもらい贈呈式と木育活動を行いました。
木育活動では、木育マイスター※³の方々と一緒に近くの公園に行き、モミジやシラカバなどの木の豆知識を教わったあと、保育所に戻って木工体験をしました。のこぎりで丸太を切り、やすりがけをしてすべすべにし、自由にお絵かきをしてオリジナルのチャームを作りました！



モミジの種のフロペラ
を飛ばしてみよう！



▲力を入れて慎重に！

できたよ！▶



個性あふれる素敵な作品ができました

※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。

※² 木製品は順次市内の他の保育園等にも設置を進めていきます。

※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。



しろかんば の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度やまびこ保育所に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。

<葉のかたち>



丸座卓

みんなで囲める座卓です。天板はハルニシ、脚はホオノキという木でできています。脚の色は使用するクラスの色に合わせて塗っていますよ。



おままごとキッチン

天板と幕板はセンノキ（ハリギリともいいます）、側板や蛇口はオニグルミの木でできています。

オープン棚

キッチンとサイズを合わせているので、並べて使用することができます。センノキ、オニグルミ、ウダイカンバ（メジロカバ）でできています。

配膳台

ミズナラ、センノキ、ウダイカンバでできています。下の部分は収納棚になっています。

全て北海道の木を使って、市内の職人さんが作ってくれたよ！



12月25日に年長児に参加してもらい贈呈式と木育活動を行いました。木育活動では、木育マイスター※³の方と一緒に絵本を通じて木や生き物たちの季節の移ろいについてみんなで考えました。その後外に出て木を探し、その形を真似する遊びを行いました。他にも木育マイスターの方に世界の木の標本コレクションを見せてもらい、「世界一重い木」「世界一軽い木」などを実際に手に持って比べてみたりと、木についてたくさん発見のある時間となりました。



良いにおい！



好きな木を見つけよう



重さや手触りが一つ一つ違うね！

※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。

※² 木製品は順次市内の他の保育園等にも設置を進めていきます。

※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。



帯広市広報マスコットキャラクター

しろかんば の もくいく通信

©帯広市2021



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度鉄南保育園に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。



すべり台

すべり面はウダイカンバ（メジロカバ）、手すり部分はオニグルミ、側板はセンノキ、階段はクリ（踏板）とミズナラ（蹴込み）の木でできています。



全て北海道の木を使って、市内の職人さんが作ってくれたよ！



おままごと用冷蔵庫（大3個、小2個）

2ドアで、扉の内側には卵や飲み物を入れられる棚がついています。扉の帯状の部分はクリ、それ以外の部分はオニグルミの木でできています。天板と側板はセンノキ（ハリギリともいいます）、背板はハルニレの木でできています。



1月21日に贈呈式と木育活動を行いました。木育活動は年長児に参加してもらい、木製品の製作者の方に生きている木から木材になるまでの段階を実物を見せながら説明してもらった後、一人ずつのこぎりを使って木を切る作業を行いました。また、箸づくり体験としてミズナラのできた素材のやすりがけと仕上げのオイル塗りをしました。木育マイスターの方々に教わりながら、みんな一生懸命に取り組んでいました。



※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。

※² 木製品は順次市内の保育園等に設置を進めています。

※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。



帯広市広報マスコットキャラクター

しろかんば の もくいく通信

©帯広市2021

つうしん



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度あけぼの保育園に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。

🌿おやまトンネル

のぼったり降りたり、中に入ってみたりと全身を使って楽しめる遊具です。



おやまの斜面と平場の外側はウダイカンバ（メジロカバ）、内側はシラカンバでできています。登る面の足止めはハルニシの木です。トンネル入り口の枠はオニグルミとホオノキ、中の床はセンノキ（別名ハリギリ）でできています。



シラカンバ

よう れいぞうこ



ウダイカンバ



センノキ

🌿おままごと用冷蔵庫

2ドアで、扉の内側には卵や飲み物を入れられる棚がついています。扉の帯状の部分はクリ、それ以外の部分はオニグルミでできています。天板と側板はセンノキ、背板はハルニシでできています。



🌿しかくトンネル

思わず中に入りたくなるトンネルです。



天板はオニグルミ、丸い穴の開いた壁はウダイカンバとシラカンバです。棒もウダイカンバです。そのほか、枠の部分はハルニシでできています。



ホオノキ

🌿ベンチ&ベッド

ベンチとして座ったり、ひっくり返して人形のベッドなどとしても使用できます。天板はクリ、幕板はセンノキ、側板と棒状の部分はオニグルミでできています。



クリ



すべて 帯広市 市
全て北海道の木を
使って、市内の職
人さんが作って
くれたよ！



令和7年2月14日に年長児に参加してもらい、贈呈式と木育マイスター※³の方々との木育活動を行いました。いつも何気なく見ている木ってどんな形や色だったかな？とみんなで考えたり、絵本を読んだ後、葉っぱのカルタやカスタネットづくりを行いました。

オニグルミ



ハルニシ

🌿小さな木のおかあさんはどれかな？



近くの森にもある木の葉っぱだよ



頑張ってやすりがけしたよ！

※¹ 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。
※² 木製品は順次市内の保育園等に設置を進めています。
※³ 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。

